



第32回川口市親と子の音楽会

2月24日、リリアで開催。川口市少年少女合唱団の合唱、川口市民オーケストラによる演奏が行われました。ジョイントステージでは、会場が一体となって合唱し、参加した親子は音楽による楽しいひとときを過ごしていました。

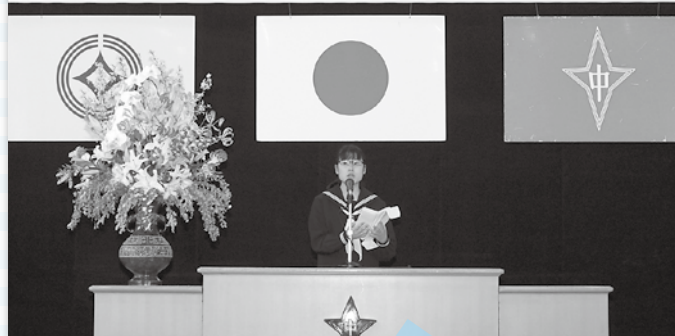


第43回初午太鼓コンクール

3月10日、リリアで開催。参加した子ども部29チーム、一般部29チームが熱演を繰り広げ、春の訪れを告げる力強い太鼓の音が会場に響きわたりました。

KAWAGUCHI PUBLICITY

川口市立芝園中学校閉校式



芝園中学校閉校式

3月9日に挙。創立35年の歴史に幕を閉じました。生徒64名を代表して、生徒会長が「生徒みんなが家族のような芝園中学校が私は大好きでした。この学校で学んだ誇りを胸に未来へと進んでいきます。」と惜別の思いを述べました。

春を呼ぶ梅まつり

2月23、24日にグリーンセンターで開催。ほろろび始めた紅白の梅のもとで、来園者は琴の演奏などを楽しみました。





第52回川口市花の文化展

3月1日から3日までの3日間、リリア・樹里安の2会場で開催。江戸時代から続く川口伝統の「赤山の枝物」をはじめ、色とりどりの切り花や鉢物に埋め尽くされた会場では、訪れたたくさんの市民が一早い春の訪れを満喫していました。



外国人のための 防災訓練講習会

2月23日、市民パートナーステーションで開催。救命講習と意見交換会が行われ、参加者はAEDの操作方法や災害が起こったときの心構えを学びました。



COMMUNITY

マイシティ
かわぐち

MYCITY

ひと・歴史・かわぐち Vol. 4

このコーナーでは「川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」に登場した川口ゆかりの人物を紹介していきます

苦しみの果ての安らぎ

中田安斎入道安行

今回は、安行の地名の起源である、室町時代中期の領主、中田安斎入道安行を紹介します。

安行、安行北谷、安行吉蔵、安行小山、安行慈林、安行出羽、安行藤八、安行西立野、安行原、安行吉岡、安行領家、安行領在家、安行領根岸。今も生きる安行を冠した地名の数々。日本を代表する植木の産地として世界にも知られる地名の起源が、今回ご紹介する中田安斎入道安行です。

室町時代中期、この地を開発した領主・中田安行の名を取って地名にしたと、新編武蔵風土記稿は伝えています。彼の生きた時代は、明応年間（1492～1501）に、北条早雲が伊豆に侵攻し相模の小田原城を奪うという、まさに戦国乱世の幕開けの時代でした。

そんな時代を生き抜いた彼の姿を今に伝えるのが、安行の名刹、曹洞宗・富雙山金剛寺の縁起です。これによれば、群雄割拠の戦乱に身を置いた中田安行は、自身も多くの人々を殺傷し、その罪業に毎夜苦しんでいました。そんな折、当地を徘徊していた越生町山吹の里で有名な龍穩寺七世の



参考文献『新編武蔵風土記稿』、
葦塚一三郎『埼玉県地名誌』北辰
図書・1969、『埼玉宗教名鑑』
埼玉新聞社・1978